



レベル 1 の出題範囲改訂 (Ver4.0) について

下記は、今後予告なく変更の可能性があります。

2015 年 6 月 1 日 (予定) より、日本語版のレベル 1 の出題範囲を改訂します。
改訂時期は変更になる場合がございますのでご了承ください。
改訂後の出題範囲のバージョンは、**Ver4.0** となります。

■ LPIC レベル 1 (Ver4.0) の出題範囲 (英語)

http://wiki.lpi.org/wiki/LPIC-1_Objectives_V4

■ 出題範囲変更のメリット

メジャーなディストリビューションで使われている「systemd」の採用など、新しく使われるようになっているツール類を取り入れ、各出題範囲の重要度を見直すことにより、最新の技術的な変化に対応します。

それにより、LPIC-1 の認定者は最新のテクノロジーに追随したスキルを持つことを証明することができます。

■ Ver4.0 のリリースによる受験方式の変更

新バージョン (Ver4.0) がリリースされてから「6ヶ月間」は、旧バージョン (Ver3.5) も受験することができます。

よって、受験者は、新旧いずれかのバージョンの試験を選択して受験することができます。

また、バージョンに関係なく、101 試験と 102 試験に合格すれば、LPIC レベル 1 に認定されます。

例) 101 試験は旧バージョン (Ver3.5) で合格し、102 試験は新バージョン (Ver4.0) で合格した場合など。

なお、ピアソン VUE の受験予約ページには、各バージョンの試験は下記のように表示されます。

試験	ピアソン VUE の予約画面での表示	
	試験番号	試験名
101 試験 (Ver3.5)	101-350	LPI Level 1 Exam 101
101 試験 (Ver4.0)	101-400	LPI Level 1 Exam 101, Junior Level Linux Certification, Part 1 of 2
102 試験 (Ver3.5)	102-350	LPI Level 1 Exam 102
102 試験 (Ver4.0)	102-400	LPI Level 1 Exam 102, Junior Level Linux Certification, Part 2 of 2

■ 出題範囲変更の概要

(1) systemd

ブートプロセス、ブートターゲット、ジャーナルサブシステムを管理する systemd の使用が追加されました。

(2) ログインマネージャ

xdm、kdm および gdm は認知レベルに引き下げ、ログインマネージャとして LightDM マネージャが追加されました。

(3) 新しいコマンド

次のコマンドが「重要なファイル、用語、ユーティリティ」に追加されました。

systemctl

wall

grub-mkconfig

xz

pgrep

pkill

screen

gdisk

gparted

getent

source

ntpq

logrotate

ip

netcat、ping6、traceroute6、tracpath6

fuser

who、w、last

(4) 新しい技術の追加(認知レベル)

次の技術が認知レベルで追加されました。

Btrfs

rsyslog

syslog-ng

■各試験別の詳細な出題範囲の差分

●101 試験

主題 101: システムアーキテクチャ

101.1 ハードウェア設定の決定と構成

hald の出題範囲を削除しました。

101.2 システムのブート目標

systemd ブートターゲットの出題範囲が追加されました。Upstart が認知レベルで追加されました。SysVinit は出題範囲内です。

101.3 ランレベル/ブートターゲットの変更とシステムのシャットダウンまたはリブート

systemd ブートターゲットの管理と変更が追加されました。systemctl および wall コマンドが追加されました。

主題 102: Linux のインストールとパッケージ管理

102.1 ハードディスクのレイアウト設計

/boot ディレクトリが追加されました。

102.2 ブートマネージャのインストール

grub-mkconfig コマンドが追加されました。

主題 103: GNU と Unix のコマンド

103.1 コマンドラインで操作する

“(ピリオド)”と exec コマンドが削除されました。

103.2 フィルタを使ったテキストストリームの処理

less コマンドが追加されました。(いつも含まれていました。)

103.3 基本的なファイル管理の実行

xz コマンドが追加されました。

103.5 プロセスの生成、監視、終了

pgrep、pkill および screen コマンドが追加されました。

主題 104: デバイス、Linux ファイルシステム、ファイルシステム階層標準

104.1 パーティションとファイルシステムの作成

ReiserFS の知識が認知レベルに引き下げられました。Btrfs の知識が追加されました。GPT での gdisk および parted についての基本的な知識が追加されました。gdisk および gparted コマンドが追加されました。

104.6 ハードリンクとシンボリックリンクの作成と変更

リンクを管理するため ls コマンドが追加されました。

●102 試験

主題 105: シェル、スクリプト、およびデータ管理

105.1 シェル環境のカスタマイズと使用

“(ピリオド)”と source コマンドが追加されました。/etc/bash.bashrc が追加されました。

105.2 簡単なスクリプトのカスタマイズまたは作成

exec コマンドが追加されました。

主題 106: ユーザインターフェイスとデスクトップ

106.2 デ스플레이マネージャの設定

このトピックの重要度を 2 から 1 に引き下げました。gdm、kdm および xdm すべて認知レベルに引き下げられました。LightDM の基本的な設定が追加されました。

主題 107: 管理業務

107.1 ユーザアカウント、グループアカウント、および関連するシステムファイルの管理

getent コマンドが追加されました。

107.2 ジョブスケジューリングによるシステム管理業務の自動化

anacron の設定が追加されました。

主題 108: 重要なシステムサービス

108.1 システム時刻の保守

ntpq コマンドの知識が追加されました。

108.2 システムのログ

このトピックの重要度を 2 から 3 に引き上げました。logrotate の設定が追加されました。rsyslog および syslog-ng の知識が追加されました。systemd ジャーナルサブシステムの使用および journalctl コマンドが

追加されました。

主題 109: ネットワークの基礎

109.1 インターネットプロトコルの基礎

CIDR 表記法が追加されました。

109.2 基本的なネットワーク構成

ip コマンドが追加されました。

109.3 基本的なネットワークの問題解決

ip コマンドが追加されました。netcat、ping6、traceroute6 および tracepath6 コマンドが追加されました。

109.4 クライアント側の DNS 設定

host、dig および getent コマンドが追加されました。

主題 110: セキュリティ

110.1 セキュリティ管理業務の実施

fuser コマンドが追加されました。who、w および last コマンドが追加されました。

■LPIC-1 の将来の変更に関する考察 (Future Change Considerations)

LPI のメーリングリスト (<http://list.lpi.org/mailman/listinfo/lpi-examdev>) にて、将来的な主題の変更として下記が検討中です。ぜひ皆様のご意見をこのメーリングリストでフィードバックしてください。

- ・別の監視ツール watch を含める。
- ・UEFI を LPIC-2 に替えて LPIC-1 で含める。
- ・GUID についての説明を追加する。
- ・Bash の範囲として declare を追加する。
- ・旧式の syslog の実装を削除する。
- ・compgen を含める。
- ・awk を出題範囲に (おそらく LPIC-2 にて) 復帰する。
- ・Linux 固有ではないため、SQL を削除する。

LPI は、コミュニティと専門家のボランティアな貢献により支えられています。コミュニティの皆様のスキルと熱意と機知のおかげで、LPI は世界中の Linux およびオープンソースの技術者の支援ができるのです。皆様の貢献をお待ちしております。

以上